

# 第6章

---

## 行政運営の取組



## (1) 行政運営の取組とは

第三次行動計画では、政策体系に位置づけた〈施策〉を推進するために行う効果的な行政運営の取組内容を政策体系に準じて掲げています。

行政運営の取組は、〈施策〉に準じて進行管理を行うこととし、〈施策〉と同様、県民の皆さんに成果をわかりやすくあらわす指標（「主指標」）と、取組を適切に評価する際に、「主指標」を補足するのにふさわしい代表的な指標（「副指標」）を設定しています。

令和2年版成果レポートでは、令和元年度の取組の成果と課題を、行政運営の取組ごとに整理・検証しています。

## (2) 行政運営の取組一覧（第三次行動計画）

行政運営の取組		頁
行政運営1	「みえ県民カビジョン」の推進	226
行政運営2	行財政改革の推進による県行政の自立運営	228
行政運営3	行財政改革の推進による県財政の的確な運営	230
行政運営4	適正な会計事務の確保	232
行政運営5	広聴広報の充実	234
行政運営6	スマート自治体の推進	236
行政運営7	公共事業推進の支援	238

### (3) 行政運営の取組数値目標等一覧

行政運営の取組名		数値目標			
		目標項目	元年度 現状値	2年度 目標値	
行政運営 1	「みえ県民カビジョン」の推進	主指標	各施策の「主指標」の達成割合	51.7%	70.0%
		副指標	各施策の「副指標」の達成割合	57.1%~ 57.6%	80.0%
			広域的な課題解決に向けた新たな連携取組数(累計)	—	10件
			地域活動を行っている県民の割合	19.8%	23.5%
行政運営 2	行財政改革の推進による県行政の自立運営	主指標	行財政改革取組の達成割合	—	28%
		副指標	事務改善取組の実践(「MIE 職員カアワード」への応募) コンプライアンスの徹底に取り組んだ所属(知事部局等、教育委員会、警察本部)の割合	84.9% —	86% 100%
行政運営 3	行財政改革の推進による県財政の的確な運営	主指標	経常収支適正度	99.8%	99.7%
		副指標	県債残高	7,677億円	7,679億円
			県税徴収率	98.80% (30年度)	98.90%
		新規歳入確保取組数(累計)	18件	36件	
行政運営 4	適正な会計事務の確保	主指標	出納局が実施する事後検査による指導件数および県の会計事務に是正・改善を求める監査意見数(実施1か所あたり)	0.74件	0.72件
		副指標	出納局が行う会計支援の有益度	94.2%	94.4%
			出納局が所管する電算システムの利用満足度	80.0%	82.5%
行政運営 5	広聴広報の充実	主指標	県からの情報が伝わっていると感じる県民の割合	28.9%	35.0%
		副指標	県が行っている広聴広報活動の実施件数	6,445件	6,150件
			県広報プロモーションのファン数	56,199人	62,500人
			公文書や個人情報の開示決定等における開示・非開示判断の適正度	0.27%	0.5% 以下
行政運営 6	スマート自治体の推進	主指標	スマート自治体の進展を実感する職員の割合	—	10%
		副指標	テレワーク(モバイルワークやサテライトオフィス等)を利用した所属数	—	60所属
			電子申請・届出システムによる申請件数	22,299件	22,400件
行政運営 7	公共事業推進の支援	主指標	公共事業の適正化率	100%	100%
		副指標	公共事業の平準化率	75.0% (30年度)	80.0%
			入札参加者の地域・社会貢献度	84.0%	85.0%



(4) 行政運営の取組評価表の見方

行政運営○

○○○○○

【主担当部局：○○○○○】

めざす姿（令和5年度末での到達目標）

行政運営の取組の行動計画期間内（令和5（2023）年度末）の目標を記載しています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
第三次行動計画 における主指標 を記載していま す。		2年度の 目標値※1				5年度の目 標値※1、※ 2
	元年度の現 状値※1					
目標項目の説明と令和2年度目標値の考え方						
目標項目 の説明	この数値目標の意味、内容、用語の説明などを記載しています。					
令和2年度 目標値の考え方	この目標項目に設定した、令和2年度における目標設定の考え方、理由などを記載していま す。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
第三次行動計画 における副指標 を記載していま す。		2年度の 目標値※1				5年度の目標 値※1、※2
	元年度の現 状値※1					

※1 現時点で、当該年度の現状値の把握が困難な指標について、把握可能な最新年(度)の数値を用いた場合は、「(〇〇年(度))」と併記しています。なお、これに関連する目標値も同様に、評価に用いる対象年(度)を「(〇〇年(度))」と併記しています。なお、計画策定以降、最新の実績が明らかになったものは当該数値を掲載しています。

※2 令和5年度の目標値に変更があった場合は、上段に変更後の目標値を記載し、下段に変更前の目標値を<>書きで記載しています。

事業費（「予算額等」欄）には、令和元年度欄は決算額、令和2年度欄は予算額（6月補正後）を記載しています。

（単位：百万円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額等	〇〇〇	〇〇〇			
概算人件費					
（配置人員）					

令和2年度の取組方向 【〇〇部 副部長 〇〇 〇〇 電話：059-224-0000】

令和2年度における取組の方向を明らかにしています。

※「〇」のついた項目は、令和2年度に特に注力するポイントを示しています。

【主担当部局：戦略企画部】

めざす姿（令和5年度末での到達目標）

第三次行動計画に基づく施策を通じて、「新しい豊かさ」を享受できる三重づくりを県民の皆さんとの協創により進めることで、三重県らしい、多様で、包容力ある持続可能な社会が実現し、取組の成果が県民の皆さんに届き、幸福実感が高まっています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
各施策の「主指標」の達成割合		70.0%				70.0%
	51.7%					
目標項目の説明と令和2年度目標値の考え方						
目標項目の説明	「主指標」の目標値を達成した施策が全施策に占める割合					
2年度目標値の考え方	第二次行動計画において「主指標」に相当する「県民指標」の達成割合（51.7%）および目標数値をふまえつつ、県民の皆さんに成果を届けることを県政運営の基本姿勢に掲げていることや、「主指標」は、県がさまざまな主体との協創の取組によって得られる成果をあらわす指標であることから、70%が妥当であると考え、目標値を設定しました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
各施策の「副指標」の達成割合		80.0%				80.0%
	57.1%~ 57.6%					
広域的な課題解決に向けた新たな連携取組数（累計）		10件				40件
	—					
地域活動を行っている県民の割合		23.5%				26.5%
	19.8%					



(単位：百万円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額等	140	331			
概算人件費					
(配置人員)					

## 令和2年度の取組方向

【戦略企画部 副部長兼ひとづくり政策総括監 高野 吉雄 電話：059-224-2009】

- ①令和2年度は、第2期「三重県まち・ひと・しごと総合戦略」と一体化した県の中期の戦略計画である第三次行動計画がスタートします。総合戦略の基本目標等を含む各施策の目標を達成するため、「みえ成果向上サイクル（スマートサイクル）\*」に位置づける政策協議等を通じて、各部局に対し必要な支援や助言を行うなど、的確な進行管理を行っていきます。また、民間企業・団体等との協創を推進する窓口を設けるなど、第三次行動計画に新たに盛り込んだSDGsの視点に基づく取組を庁内外において展開していきます。
- ②みえ県民意識調査については、今後の県政運営に活用するため、これまでの調査結果等をふまえ、第10回調査を実施します。
- ③「三重県国土強靱化地域計画」の推進に向けて、「みえ成果向上サイクル（スマートサイクル）」に基づき的確な進行管理を行っていきます。また、社会情勢の変化や国の動きをふまえ、「三重県国土強靱化地域計画」の改訂を進めるとともに、県内市町における国土強靱化地域計画の策定に向けた支援を行っていきます。
- ④国が主導するマイナンバー制度が円滑に運用されるよう、次期システム更改等に適切に対応するとともに、関係部局と連携し、個人情報保護等に配慮しつつ、的確に対応していきます。
- ⑤戦争の悲惨な実態と教訓が風化することのないよう、未来を担う若い世代をはじめとする多くの県民の皆さんに、戦争の悲惨さと平和の大切さを伝える機会づくりに取り組んでいきます。
- ⑥総合教育会議の開催等を通じ、各部局の人づくりに係る施策の総合調整を行い、「三重県教育施策大綱」に掲げる基本方針をふまえ、教育・人づくり政策の計画的な推進を図ります。
- ⑦県境を越えて取り組むべき共通の課題や広域的な課題に関し、知事と他の自治体等の長が調査・研究や提言・提案、連携事業等の実施について協議する場を設けることによって、各部局の施策推進に必要な他の自治体等と連携した取組を進めます。
- ⑧県民一人ひとりが自らを社会の担い手として認識し、NPO活動について理解、参画し、さまざまな主体との協創によって地域課題の解決に向けた取組を促進するため、「みえ県民交流センター\*」を拠点として、NPOに関する県民の皆さんへのわかりやすい情報発信、NPOや中間支援組織の基盤・機能強化に取り組めます。
- ・新型コロナウイルス感染症の県内での感染拡大を防止し、県民の皆さんの大切な命を守るとともに、県内経済や県民生活への影響を回避・軽減するため、強い危機感を持って「オール三重」で対応する総合的な対策を、各部局と連携して適時、策定するとともに、全国知事会や近隣府県等と連携し、国に対して必要な対策の提言・要望を行っていきます。

\*「○」のついた項目は、令和2年度に特に注力するポイントを示しています。

【主担当部局：総務部】

めざす姿（令和5年度末での到達目標）

県民の皆さんからの信頼回復と、「挑戦する風土・学習する組織」への取組がさらに進み、高い意欲と能力を持つとともにコンプライアンス意識が向上した職員が育ち、日本一、幸福が実感できる三重、働きやすい県庁となっています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
行財政改革取組の達成割合		28%				100%
目標項目の説明と令和2年度目標値の考え方						
目標項目の説明	「第三次三重県行財政改革取組」における全ての具体的取組のうち、達成した取組の割合					
2年度目標値の考え方	ロードマップ（工程表）に基づき、令和5年度に全ての具体的取組が達成できるよう目標値を設定しました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
事務改善取組の実践（「MIE職員カアワード」への応募）		86%				92%
コンプライアンスの徹底に取り組んだ所属（知事部局等、教育委員会、警察本部）の割合	84.9%	100%				100%

（単位：百万円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額等	766	821			
概算人件費 （配置人員）					

- ①「第三次三重県行財政改革取組」に掲げた具体的取組について着実に推進できるよう進行管理を行います。
- ②より一層簡素で効率的・効果的な組織体制の整備を図るとともに、三重とこわか国体・三重とこわか大会の準備やスマート自治体を推進するための組織体制の整備に取り組みます。
- ③職員一人ひとりが主体的に「ワーク」と「ライフ」をコントロールできることをめざし、所属長との対話等を通じて意識の共有を図るとともに、取組項目を重点化したうえでワーク・ライフ・マネジメントを推進します。
- ④県民の皆さんからの信頼回復と「挑戦する風土・学習する組織」、「時代の変化に的確に対応できる多様な人材育成」に向けて、令和元年度に見直しを行った「三重県職員人づくり基本方針」に基づき、自ら考え、未来を切り開くための取組にも果敢に挑戦できる人材育成を進めます。
- ⑤不適切な事務処理事案や不祥事の再発防止に向け、引き続き、コンプライアンスミーティングの開催や研修の充実等により、コンプライアンスの一層の浸透、組織風土としての定着をめざして取り組みます。また、三重県公文書等管理条例の運用を通して、公文書の適正管理の徹底に取り組みます。加えて、適正に業務を執行するための内部統制制度について、実効性のある取組となるよう運用します。
- ⑥「県職員育成支援のための人事評価制度」等の適切かつ円滑な運用により、引き続き職員の意欲・能力の向上と組織力の向上に取り組んでいきます。
- ⑦職員の安全を確保し、こころと体の健康保持・増進を図るため、ストレスチェックをはじめとする総合的なメンタルヘルス対策の実施や、職場における健康管理等、安全衛生管理に取り組みます。
- ⑧研修等を通じて、危機発生時の未然防止や危機発生時等に的確な対応が行えるよう、引き続き職員の危機対応力の向上に取り組みます。

\*「○」のついた項目は、令和2年度に特に注力するポイントを示しています。

【主担当部局：総務部】

めざす姿（令和5年度末での到達目標）

将来世代に負担を先送りすることなく持続可能な財政運営が行われ、県の政策が効果的に展開されています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
経常収支適正度		99.7%				99.0%
	99.8%					
目標項目の説明と令和2年度目標値の考え方						
目標項目の説明	当初予算における経常的支出額を経常的収入額で除した率					
2年度目標値の考え方	令和5年度に99.0%を達成することを目標に、今後の財政見通しを考慮のうえ、令和2年度の目標値を99.7%としました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
県債残高		7,679億円				7,645億円
	7,677億円					
県税徴収率		98.90%				99.05%
	98.80% (30年度)					
新規歳入確保取組数（累計）		36件				90件
	18件					

（単位：百万円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額等	102,876	115,871			
概算人件費					
（配置人員）					

- ①県財政の健全化に向けて、引き続き、経常的な支出の抑制に取り組むとともに、その成果を県民の皆さんに届けることができるよう、メリハリのある予算編成を行います。
- ②未利用財産の売却や自動販売機設置場所の貸付拡大等に向け、財産の利活用に取り組むとともに、クラウドファンディングの活用やネーミングライツの導入の促進等、引き続きあらゆる歳入確保に取り組めます。
- ③県税に係る高額滞納事案については、早期調査に着手し、搜索、公売等を含めた滞納整理を進めます。自動車税については、預貯金調査の電子化を導入するなど、すみやかに財産調査を進め、滞納処分の早期着手に努めるとともに、11月と12月を差押強化月間とし、当該期間に集中的な差押を実施し、年度末までに処理を完結する「単年度整理」の徹底を図ります。また、従来コンビニ納付、クレジットカード納付、MMK設置店での納付に加え、スマートフォン決済アプリによる納付を導入し、県民の皆さんが納税しやすい環境について周知を行うことにより、税收確保に取り組めます。さらに、個人県民税の徴収対策については、市町と連携を強め、引き続き特別徴収を促進するとともに、令和2年度から各地域の県税事務所に市町支援窓口を設置し、各地域の実情に応じ、年間スケジュールを策定して滞納整理の促進を図り、現年度徴収対策を推進します。また、新型コロナウイルス感染症の影響による納税者の負担を緩和するため、県税の納税猶予を行うなど適切に対応していきます。
- ④「みえ公共施設等総合管理基本方針」に基づく具体的な取組を進めるため、利用者の安全・安心の確保や施設の長寿命化に向け、引き続き各部局と情報共有等を行うとともに、点検・修繕履歴の情報蓄積を進め、予防保全の観点からメンテナンスサイクル\*を実施し、本庁・地域総合庁舎の長寿命化を図ります。

\*「○」のついた項目は、令和2年度に特に注力するポイントを示しています。

【主担当部局：出納局】

めざす姿（令和5年度末での到達目標）

会計事務の担当職員一人ひとりが、高いコンプライアンス意識を持って、法令や規則に基づいた適正な会計事務を行うとともに、財務会計制度を取り巻く動向を把握し的確に対応することにより、県の会計事務に対する県民の皆さんの信頼が高まっています。また、県歳入金の収納方法が多様化し、県民の皆さんの利便性が向上しています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
出納局が実施する事後検査による指導件数および県の会計事務に是正・改善を求める監査意見数（実施1か所あたり）	0.74件	0.72件				0.66件
目標項目の説明と令和2年度目標値の考え方						
目標項目の説明	出納局が実施する事後検査による指導数を実施箇所を除いた数値と、定期監査結果の財務事務の執行に関する意見を監査実施箇所数で除した数値の平均値。					
2年度目標値の考え方	令和5年度目標値の達成に向けた均等かつ段階的な目標数値として設定しました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
出納局が行う会計支援の有益度	94.2%	94.4%				95.0%
出納局が所管する電算システムの利用満足度	80.0%	82.5%				90.0%

(単位：百万円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額等	479	285			
概算人件費					
(配置人員)					

### 令和2年度の取組方向

【出納局 副局長 紀平 益美 電話:059-224-2771】

- ①事務処理ミスの縮減に向けて、会計事務に関する相談、検査の実施や検査後のフォローアップなど、職員や所属のニーズに合わせたよりきめ細かい会計支援を行うとともに、各種研修を通じて会計事務担当者の能力向上やコンプライアンスの日常化につなげていきます。令和2年度も、新任班長研修において会計事務研修を引き続き実施するなど、不適切事案の防止に向け取り組みます。あわせて、令和2年度から導入される内部統制制度において、組織横断的な業務を所管する出納局が「財務に関する事務」について基礎評価を適切に行い、さらなる会計事務の適正化に努めていきます。
- ②資金を適正に管理するとともに、低金利が続く中、元本の安全性と流動性を確保しながら、より効率的な運用方法について検討し運用益の確保に努めていきます。
- ③会計事務を行う各所属が、正確かつ迅速に業務遂行できるよう、令和2年1月に稼働した財務会計システムの安定稼働と円滑な運用に努めていきます。
- ④電子調達システム（物件等）においては、利便性が高く、正確な入札事務を継続していくことができるよう、令和2年3月下旬に再構築したシステムの安定稼働と円滑な運用に努めていきます。
- ⑤県民の公金納付の利便性を向上させるための収納方法の多様化については、税外収入の一部について、令和3年4月からキャッシュレス収納（コンビニ・スマホ収納）を導入するため、財務会計システムを改修するとともに、収納委託事業者の選定等の取組を進めていきます。

\* 「○」のついた項目は、令和2年度に特に注力するポイントを示しています。

【担当当部署：戦略企画部】

めざす姿（令和5年度末での到達目標）

県民の皆さんの行動につながる県政情報が発信され、県政に対する意見や評価が適切に把握されるなど、充実した広聴広報活動が行われています。これにより、県民の皆さんの県に対する理解や共感、信頼が深まり、県政への積極的な参画や提案など、協創の三重づくりが進み、県民の皆さんとの接点の拡大と充実が図られています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
県からの情報が伝わっていると感じる県民の割合		35.0%				50.0%
	28.9%					
目標項目の説明と令和2年度目標値の考え方						
目標項目の説明	「みえ県民意識調査」で、県の広報活動により県の情報が伝わっていると「感じる」「どちらかといえば感じる」と回答した県民の割合					
2年度目標値の考え方	得たいと思う県情報が得られていると感じる県民の割合 28.6%（平成30年度実績）を参考に、毎年度5%ずつ増加を図り、5年度には県民の皆さんの2人に1人が実感していることをめざすものであり、2年度の目標値を35.0%としています					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
県が行っている広聴広報活動の実施件数		6,150件				6,600件
	6,445件					
県広報プロモーションのファン数		62,500人				70,000人 <55,000人>
	56,199人					
公文書や個人情報の開示決定等における開示・非開示判断の適正度		0.5%以下				0.5%以下
	0.27%					



(単位：百万円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額等	543	1,256			
概算人件費					
(配置人員)					

## 令和2年度の取組方向

【戦略企画部 副部長兼ひとづくり政策総括監 高野 吉雄 電話：059-224-2009】

- ①広聴広報会議等で各種広聴広報ツールの周知や部局間の情報の共有を図るとともに、パブリシティ活動の質の向上に向けて職員研修を実施することで情報発信力や広聴機能の強化を行い、「三重県広聴広報アクションプラン」に基づき、全庁が一体となった戦略的・計画的な広聴広報活動を展開していきます。
- ②新型コロナウイルス感染症の緊急情報や災害時の危機管理・救急医療情報など、県民の皆さんに必要な情報を的確に届けるとともに、より県情報が身近に感じていただけるよう、「伝える」から「伝わる」、「届ける」から「つながる」広聴広報の観点で、県広報紙や県ホームページ、フリーペーパー、テレビ、SNS等の多様な広報媒体を活用した情報発信、パブリシティ活動に取り組みます。
- ③「拡散性の高い情報コンテンツづくり」の視点で、県プロモーションサイト「つづきは三重で」での情報発信を行うとともに、首都圏等におけるマスメディアを活用した県の魅力発信、若者への訴求力の高いウェブメディアでの情報発信を強化することで、県の認知度向上や三重県ファンを増やすためのプロモーション活動を展開していきます。
- ④県ホームページについて、利用者の皆さんが必要な情報を入手しやすいよう環境を整えるとともに、引き続き改善に取り組みます。あわせて、ウェブアクセシビリティの水準維持やシステムの安定運用及びセキュリティ対策に取り組みます。
- ⑤「県民の声」制度を適正に運営するとともに、広聴ツールである「みえ出前トーク」、「e-モニター」を活用した広聴活動の充実に引き続き取り組みます。
- ⑥国勢調査をはじめとする統計調査については、迅速かつ正確に実施、審査、集計等を行い、調査結果を分かり易く公表するとともに、統計関係者の功績を表彰し意欲を高めていただくことで、調査の円滑な実施を図ります。主要経済指標等の最新の統計情報をインターネット（「みえDataBox」）で提供するほか、各種統計資料を適切に作成、刊行するとともに、統計の普及と利活用の推進及び統計調査への理解促進を図ります。
- ⑦情報公開・個人情報保護制度の適正な運用、個人情報の漏えいの防止などを図るため、職員研修の充実等に取り組み、職員等の一層の意識の向上を図り、制度を適正に運用します。

\* 「○」のついた項目は、令和2年度に特に注力するポイントを示しています。

【主担当部局：総務部】

めざす姿（令和5年度末での到達目標）

ICTの新しい技術の活用により、生産性の向上と正確性の確保を両立させたスマート自治体に向けた取組が進み、職員の働き方の質が高まるとともに、県民サービスの向上につながっています。

また、スマート自治体を支える情報通信基盤の整備と情報セキュリティの確保が進み、安心かつ快適に利用できる環境が整っています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
スマート自治体の進展を実感する職員の割合		10%				60%
目標項目の説明と令和2年度目標値の考え方						
目標項目の説明	スマート自治体に係る「職員アンケート」で、ICTを活用したスマート自治体の取組により、効率的な業務環境の整備が進展し、働き方が変わったと実感する職員の割合					
2年度目標値の考え方	令和5年度目標値の達成に向けて、取組を段階的に進展・加速させていくことを勧奨し、設定しました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
テレワーク（モバイルワークやサテライトオフィス等）を利用した所属数		60 所属				167 所属
電子申請・届出システムによる申請件数	22,299 件	22,400 件				23,000 件 <22,000 件>

（単位：百万円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額等	1,295	1,598			
概算人件費					
（配置人員）					

- ①新たに設置した「スマート改革推進課」を司令塔として、ICTの新しい技術の業務改善への活用・導入を推進する「スマート人材」の育成など、スマート自治体に向けた推進体制の構築を進めるとともに、AIやRPA\*等の新たな技術のさらなる活用、オフィス環境の整備などに取り組みます。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止と業務継続を図るとともに、より柔軟かつ弾力的な働き方に向け、WEB会議や在宅勤務の環境整備等を迅速に進めていきます。
- ②電子申請・届出システムやオープンデータ等について、効果的な活用事例の紹介、操作研修の実施などにより、随時利用促進を働きかけるとともに、ニーズに応じてコンテンツを充実することで利用拡大を図り、多様で使いやすい行政サービスや行政情報の提供に取り組んでいきます。
- ③行政WANやグループウェア等の情報通信基盤の安定運用に努め、効率的に業務を遂行できるよう職員一人一台パソコンの更新等に引き続き取り組みます。また、三重県情報ネットワークについては、費用対効果や信頼性のさらなる向上に向けて、防災対策の充実や働き方改革の推進も視野に入れた次期ネットワークの構築を進めていきます。
- ④各部局が保有する情報システムの最適化について、予算要求前審査等のPDCAサイクルの仕組みを運用していく中で取り組んでいきます。また、研修や訓練を通じて情報セキュリティ意識の向上を図り、情報化の基盤となる人材の育成を推進していきます。

\*「○」のついた項目は、令和2年度に特に注力するポイントを示しています。

【主担当部局：県土整備部】

**めざす姿（令和5年度末での到達目標）**

公共事業の実施プロセスの公正性・透明性を確保し、事業を適正かつ着実に実施することにより、公共事業の成果が県民の皆さんに届き、公共事業への信頼感が向上しています。

主指標		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
目標項目	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
	公共事業の 適正化率	100%	100%			
目標項目の説明と令和2年度目標値の考え方						
目標項目 の説明	「三重県公共事業評価審査委員会」と「三重県入札等監視委員会」の調査審議において適正とされた割合の平均値					
2年度目標値 の考え方	公共事業は、実施プロセスの公正性・透明性を確保するとともに、事業を適正に実施することが必要不可欠であることから、目標値を100%としました。					

副指標		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
目標項目	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
	公共事業の平準 化率	75.0% (30年度)	80.0%			
入札参加者の地 域・社会貢献度	84.0%	85.0%				88.0%

(単位：百万円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額等	4,466	4,591			
概算人件費					
(配置人員)					

- ①「三重県公共事業評価審査委員会」の調査審議を受け、公共事業を取り巻く状況の変化に対応した事業の評価を行い、適正な執行に取り組みます。
  - ②「三重県入札等監視委員会」の調査審議を受け、公共事業の公正性・透明性を確保しつつ、公共事業を取り巻く状況の変化に対応した入札契約制度の改善、適正な運用に取り組みます。
  - ③「第三次三重県建設産業活性化プラン」に基づき、入札契約制度の改善と適正な運用に取り組み、公共工事の品質を確保するとともに、技術力を持ち地域に貢献できる建設企業の育成に取り組みます。
  - ④週休二日制の拡大、施工時期の平準化およびICTの活用などを進めることにより、働き方改革の推進や生産性の向上に取り組むとともに、各種取組の拡大を国、県および市町等で構成する発注者協議会などを通じて市町へ要請します。
  - ⑤公共事業の適正な執行のために、電子調達システムや設計積算システムなどの安定運用を図ります。また、設計積算システムは、令和3年度中の次期運用開始をめざし、更新業務を進めます。
- ・国の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」で公共事業の継続性が求められていることから、感染症拡大防止対策を徹底しつつ、景気の下支えのため公共事業の早期執行を図ります。また、受注者から工事の一時中止や工期の延長などの申出があった場合は適切な措置を行います。

\* 「○」のついた項目は、令和2年度に特に注力するポイントを示しています。

